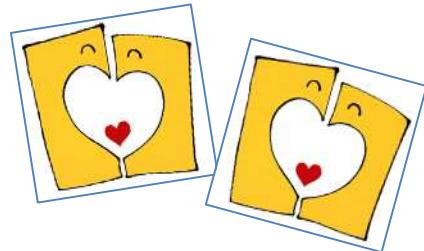


道徳通信



中島中学校 2学年道徳通信 No.4 R7.7.16

教材名『松葉づえ』（友情、信頼）

【あらすじ】

松葉づえを使用している転校生の大野君。「僕」を含め、同じ班のみんなは親切に接していたが、大野君が自分たちより勉強も将棋もできるとわかり、徐々に手を貸さなくなる。ある日、今井さんが大野君の松葉づえにつまずくというトラブルが起きる。みんなは大野君を責めるが、これまで無関心のようにふるまっていた伊藤君の「みんな、誰のために大野に協力してやってたんだよ。友達って言ってたじゃないか。」ということ言葉が「僕」の心に大きく響いた。



【ねらい】

「友情」とはどういうものかを考え、心から信頼し、助け合える友達関係を築いていこうとする心情を育てる。

本当の友情ってなんだろう？

【授業の感想】

- みんなの意見を聞いて、一緒にいて楽しい人より本当に困ったときに助け合える人の方が信頼があり、いいと思いました。いろんな人と友情を深めたいなと思いました。
- ただ楽しくいるだけの友達ではなくて、本当に信頼して助けてくれる友達も必要だということがわかりました。
- 私は友情とは「一緒にいて楽しい ずっといたいと思えること」と思っていた。でも、やっぱり信頼も必要だな~と思いました。
- 信頼できるだけでもだめだし、ただ仲がいいだけでもだめだと思いました。仲がよくて、信頼できるのが1番よい友情なのかなと思いました。
- これからは、一緒にいて楽しく、本当に困った時は助けてあげるようになろうと思いました。
- 少し強くても笑いあえて、悩んだら真剣に悩んでくれるのが友情だと思った。
- 友情とは自分にも相手にも欠かせないし、信頼できることが本当の友情だということがわかりました。
- 友情の形は人それぞれだったり、場合によって必要とされている友情の形が違うことを新しく知った。
- 一緒にいて楽しいのも大切だけど、助け合えるのも大切。



タブレットの「心の数直線」を用いて自分の気持ちを数値化し、話し合いをします。

ご家庭でも「友情・信頼」について話し合ってみてください。